

地元のお祭りにも  
参加しています



「きのくに祭り」では、だし  
ひく子どもたちの掛け声がに  
ぎやかに響きわたりました！

毎朝、商店街の  
人たちに元気に  
挨拶します



商店街のみなさん  
ありがとうございます！



### 子どもたちから 商店街の皆さまへ

園児たちから日ごろお世話になって  
いる商店街のお店に手作りカレン  
ダーが毎年贈られています。お店の  
方々も大切に飾っているそうです。

基山モール商店街 ☎09942(92)0025

昭和57年にオープンし、当初は人をかきわ  
けないと歩けないほどにぎわっていた基山  
モール商店街。しかし、年々人通りが少な  
くなり、シャッターが閉じたままの店舗も増え  
てきました。そんな空き店舗に、一昨年、保  
育園が移転。そこから、商店街の雰囲気を変  
わりはじめました。

「子どもは、地域の宝。保育園が移転して  
くるとこの話を聞いたとき、『商店街が明る  
くなるぞ！』と思いました。」と話すのは、  
基山モール商店街協同組合理事長の松尾さ  
ん。移転は、基山町役場が呼びかけ、今では、  
商店街に子どもたちの楽しげな声が響きわ  
たっています。

『ちびはる保育園』の園長・杉原さんは、「保  
育園は騒がしいと、地域のひととトラブルにな  
ることがあります。しかし、この商店街のみ  
なさんは本当にあたたかく迎えてくれて、感  
謝の気持ちでいっぱいです。」と笑顔。保  
護者の方が商店街のお店に立ち寄られるよう  
にと保育園でマップを作ったところ、園児たち  
の送り迎えの際、商店街のケーキ屋などに足  
を運ぶ方も増えてきました。また、商店街の  
店主のみなさんと園児が一緒になって、すぐ  
近くの神社に畑をつくり、園児たちは楽しく  
ブロッコリーや白菜などを栽培しています。  
基山町役場の働きかけでつながった商店街と  
保育園の出会いには、お互いにとって良いご縁  
となりました。

また、園児たちにとっても、商店街は格好  
の遊び場。松尾さんが商店街の歩行者専用道  
路『グリーンロード』に水で消えるチョーク  
を使い、「けんけんば」を書いて見せたところ、  
園児たちは緑の道にのびのびと絵を描き始め  
ました。毎年7月に開催される『きのくに祭  
り』では、商店街のみなさんと一緒に園児が  
山車をひいています。「子どもたちが大人に  
なったときに、商店街の人と遊んでもらった  
という記憶が少しでも残っているとうれしい  
ですね。」と杉原さん。

商店街には、保育園の他にもデイサービス  
や就労支援施設なども移転し、商業の場から  
人が集うサービスの場へと変化しています。  
「子どもたちに手をふったり、声をかけたり。  
商店街のみんながやさしい気持ちになれま  
す。保育園のみなさんには心からありがとう  
と言いたいです。」と松尾さんは語ります。

保育園の移転がきっかけとなり、たくさん  
の笑顔が生まれている基山モール商店街。街  
の通りに活気が生まれただけでなく、『子ど  
もを地域で見守る』というあたたかな気持ち  
と新しい商店街のカタチが生まれています。

特集

# 子どもの声で、商店街に明るく

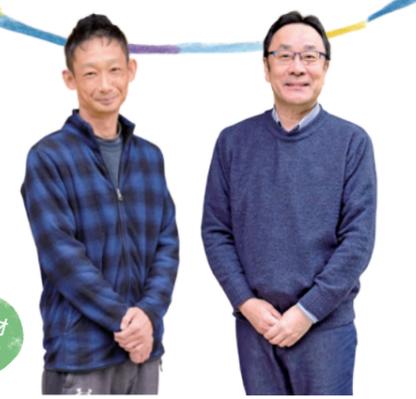
～基山モール商店街とちびはる保育園の出会い～



商店街の歩行者専用道路(グリーンロード)が子どもたちの遊び場

元気な声で走り回り、道路に落書きをして  
遊ぶ子どもたち。大人たちはニコニコと見  
守っています。商店街と保育園の出会いか  
ら、地域と子どもたちの交流が生まれ  
新しいまちづくりがスタートしています。

取材  
協力



ちびはる保育園 園長 杉原 伸介 さん  
基山モール商店街 理事長 松尾 滋 さん